



不登校って、どう対処すればいいの？

A. 無理強いはよくないと思うの。



なぜ行きたくないか、を子どもが話してくれないときは、[学校](#)のことについて話したくない、考えたくないときだと思うの。

そういうときに無理に聞き出そうとするのは逆効果なのだと思う。

イヤだ！と思ってることをしつこく聞かれるのって誰だって嫌なもので、それと同じことよね。

その代わりに、子どもが安心できる居場所を、家の中にこそ作ってほしいと思うの。

もちろんその場所が[放課後等デイサービス](#)でもいいし、フリースクールとかであってもいいと思うわ。

学校に行きたくない、っていうのは、子どもの日常生活の場所のひとつである学校が、子どもにとって安心できる居場所ではなくなっているのではないかしら。

そのときに、ほかの居場所である家や放課後等デイサービスまでが居心地の悪い場所になってしまったら、子どもの居場所がなくなってしまうのね。

子どもが安心して過ごせる居場所づくりを最優先に考えて、子どもが抱えている悩みなどを話しやすくなるような環境が必要なの。

保護者に見てみたら、とても心配になってしまっついガミガミ言ってしまうものみただけけれど、ここは我慢のしどころなのよ。

ひとりで抱え込まず、子どもの意見を聞きながら、学校の先生や福祉の人に相談してみるのがいいと思うの。

担任の先生だけではなく、校長先生、教頭先生、養護教諭やスクールカウンセラー、ソーシャルワーカーなどさまざまな教職員がいるわ。

福祉のほうにも、[相談支援専門員](#)もいるし、いろいろな子育て相談の窓口があります。

各方面にいろいろと相談しておくことによって、子どもが学校に行きたいと思ったときに、その気持ちに答えやすくなります。

いまは学校を避けたい、と思っていても、子ども本人なりに折り合いをつけて学校や人に向き合う準備が整えば、学校に行きたいと話すこともあるはずよ。

そのときに、子どもの背中をそっと押せるように、各方面と[連携](#)が取れているといいわね。

どうしても学校に行きたくない、行けない、のであるならば、無理に登校するのめどうか、思っています。

学校だけがすべてではないし、行かない、という選択もきちんとした自己選択ですもの。

[子どもの意見](#)は、尊重されるべきで無理強いは良くないことなのではないかしら。

[《MENU》](#)

[《情報の共有って気が引けるかも？](#)

[《身体拘束ってダメだよな？》](#)

2022-01-31 掲載